

# 会議記録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 23年 10月 20日(木曜日)	開催時刻	13時 30分から 14時 50分
会議名	丸子地域協議会(平成 23年度第 7回)		
出席委員	齊藤会長、北村副会長、生田委員、内田委員、倉沢委員、上坂委員、笹井委員、佐藤委員、清水委員、関委員、滝澤委員、成澤委員、松山委員、丸山委員、宮下委員、村松委員、山越委員【欠席】池内委員、中澤委員、横山委員		
市側出席者	関丸子地域自治センター長、宮澤センター次長兼地域振興課長、下村地域振興政策幹、芹澤市民生活課長、松井健康福祉課長、矢島産業観光課長、小林消防課長、松村上下水道課長、永井土木担当係長、大平地域政策担当係長、翠川地域政策担当主査、馬場		

## 会議次第

### 1 開会(宮澤センター次長)

- ・配布資料の確認、欠席委員の報告

### 2 あいさつ(齊藤会長)

本日は、報告 2件とその他 3件を予定しています。また、今回も全体会終了後に専門部会の開催をお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

### 3 報告

#### (1)平成 23年度重点目標の進捗状況(中間報告)について

- ・平成 23年度丸子地域重点目標の進捗状況(9月末現在)について、担当課より詳細説明
- ・内容は、上田市のホームページ等にも掲載予定

資料 1:平成 23年度重点目標

#### 主な質疑の内容

(委員)【重点目標 2- 】地域づくり研究会の内容と状況(実績)を教えてほしい。【重点目標 3- 】利用件数アップに向け PR 活動を実施し、結果は出てきているか。

(産業観光課)鹿教湯病院において、地元皆さん、鹿教湯病院さん、農協さんなどに集まっていたいただき、現在の鹿教湯が置かれている状況等を報告し、それぞれの立場から鹿教湯に対する意見を伺った。会議の中では、鹿教湯温泉は一時期大変保養客が多かったが、現在はだいぶ少なくなっており、保養客をもう一度鹿教湯に呼び寄せるためにはどうしたらいいかということで、それぞれが共通した課題を持ち、5月以降は、その分野ごとに調整会議を進めている状況である。中心市街地再生事業の支援については、7月から宅配事業を開始し、現在会員数は約 280名。その中で、70歳以上が約 23%、50~69歳が約 29%である。なんでも宅配という形で宅配事業を実施してきたが、なかなか毎日利用いただける方は少ないというのが実情。そうした中で、PR 活動した際には売り上げが伸びるといったデータが出てきた。また、地区別売り上げは、上丸子地区が断然多く 33%、次に周辺地域という結果になっている。

(委員)【重点目標 2- 】鹿教湯の朝市は、観光客や地元の方など、どのような方の利用が多いのか。また、どれくらいの効果があったか。

(産業観光課)日曜日に開催されており、宿泊客が主である。各旅館で PR し、出発前に地元野菜を購入していただくということで、お客さんには好評である。ただ、あさつゆとしては、海野町への出店もあり、鹿教湯まで荷物を運んで販売するということのやりくり

が大変であるが、地域のためということで協力いただいている状況である。

(委員)【重点目標 1- 】パトロールの範囲と実施方法を知りたい。また、通学時に声掛けをしている方々との連携はどうか。【重点目標 2- 】もも鹿教湯温泉地域の活性化に関わることである。地域協議会にとっても、丸子地域の各地区の活性化は、重要な課題の一つである。地域の具体的な取り組みと地域協議会は本来別物であってはならない。今まで、地域の実務的なことについて、あまり地域協議会に声が掛かってこない傾向がある。今後、地域協議会も一緒に参画していくということについての考えを聞きたい。

(市民生活課)範囲は、丸子全地域の小・中学校の登下校の際に通る道が対象で、不定期にパトロールを行っている。実施方法は、専用の青色回転灯をつけた軽の白黒の車で、カセットテープで防犯を促す放送をしながら巡回している。地域の声掛けということで、見守り隊等の方々があり、当初は各地域で盛んにやっていただいていたが、最近は若干温度差があり、殆どの地域で見られない状況である。今回の懇談の中でも課題として挙げられており、今後改善できるよう進めていきたいと思っている。

(センター次長)地域協議会の取り組みという部分の御質問について、活性化に向けた取り組みは、いわゆる当事者や実行する皆さんに集まっていた中で、産業観光課が音頭を取り、色々な取り組みを協議していただいているということ。地域協議会は、それらの取り組みに対し、もし報告等があれば、地域協議会に報告する中で意見を求めるという立場で参画し、その内容を協議していただくということになると思う。皆さんの取り組みに対し、報告等がほしいということであれば、産業観光課を通して協議会へ報告させていただくことも大切だと思っている。

(委員)声掛け運動が下火になってきているということで、何らかの形で取り組み強化を考えていく必要があると感じる。2点目の次長からの説明だが、地域協議会は報告を聞き、意見を述べる場だと断定されているような気がする。もう少し地域協議会を弾力的に考えてもいいのではないか。地域協議会は、ある地域にとっては当事者でないかもしれないが、丸子地域全体では当然当事者の一部ではないかと思う。今後、もう少し議論した方がいいと思う。

(センター次長)もっともな御意見であり、地域協議会のあり方という視点からも今後協議させていただきたい。当面、上田市全体の地域協議会のあり方としての一般的な考え方ということで捉えていただければと思う。

(委員)【重点目標 1- 】各自治会からの要望を調整し、県へ伝えているのか。どのようにこの事業が進んでいるのか。【重点目標 2- 】ぶどうの摘み取りの関係のツアーだと思うが、参加者からは大変評判が良く、皆喜んでいたということだった。全部の畑の収穫をボランティアで行うのは無理なことだと思うが、できるだけ丸子地域外も含め、収穫体験を広めていただきたい。

(建設課)工事は上田建設事務所で実施している。自治会要望はこちらで取りまとめ、市から県へ要望を上げ、実施をお願いしている。

(産業観光課)重点目標に書かれているツアーは、鹿教湯温泉に宿泊いただき、マリコヴィンヤードのぶどう畑へ行っていただく有料のもの。委員さんが言われたのは、9月終わりから10月初めにかけて、市民の皆さんから作業参加者を募集して行ったマリコヴィンヤード収穫作業のことだと思う。昨年までは、2日間で100名ということで、200名の方に作業に応援いただき、大変好評であった。しかし、人数制限をしたことで、逆にお断りする結果となり、大変お叱りをいただいたという経過もある。今年は、ぶどうを作っているマリコヴィンヤードの会社側とバックアップしていただいている陣場台地研究会に協力いた

だき、6日間実施し、参加人数約 330名の方にぶどうの収穫をお手伝いいただいた。アンケートも実施し、その中で「天気が良く、作業も気持ち良くでき、また来年も来たい。」との御意見をたくさんいただいた。来年に向け、広く市民の皆さんに参加いただけるよう工夫をしていきたい。

(委員)【重点目標 4- 】目標数値を 5ha とした理由は何か。それに対し、まだ 2ha しか解消されていない現況とはどういうことか。以前、丸子の遊休荒廃地は合計 708ha ということだったが、数量が少ないのではないか。現在、遊休荒廃地が山林になっている場所がある。この問題を市はどう考えているか。利用まで考えているか。

(産業観光課)5ha は、当初私たちの努力目標ということで挙げた数値。当然目標値を 2ha と設定すれば、2ha 解消しましたということで良いのだが、目標値が低いと、かえって自分達が向かっていくという部分において欠けるということで、少しハードルを高く 5ha と設定した。708ha という数値については、山林に近い方の荒廃地部分は含めず、圃場整備してある中の荒廃した土地や住宅近隣の畑の荒廃部分ということで挙げたもの。担当課としては、山林化していく荒廃地をできるだけ少なくしていく努力をしていかなければいけない。畑や田に立木が立ってしまうと処分が難しくなる。今年、長瀬の金井地区で遊休荒廃地の実験事業を行った中で、粉碎機のデモンストレーションを行った。これは、木をチップにするというもの。機械の導入も有効な方法の一つとして考えられるのではないかと考えている。何を作るかについては、ソバといったものでないと、なかなか荒廃地を減らすことができないというのが現状。地域の活性化組合の皆さんと連携し、荒廃地をできるだけ広げないような対策をしていきたいと思っている。

(委員)【重点目標 1- 】については、緊急時連絡カードマップの研究会との兼ね合いはあるか。【重点目標 1- 】は合併前後に、平戸工業団地の上の所、地すべりの危険性についての説明会があったが、地すべりマップの他は、その後どんな活用がされているか。そういったものが活用され、今回のような県の事業着手となっているのか。進捗状況などを教えてほしい。【重点目標 4- 】の「開墾」とは具体的にはどのようなことか。

(健康福祉課)要援護者登録制度の概要に少し触れると、災害時に支援が必要と思われる方ということで、市の防災計画、要援護者への支えをどうするかの中にマニュアルが備えられている。その中で要援護者は、一人暮らしの高齢者、身体障害者手帳 1級、療育手帳 A1・A2、精神障害者保健福祉手帳 1級、これに順ずる世帯、例えば高齢者のみの世帯という形の中で、要援護者に対して地域で見守り、災害時の避難等において支援者または地域でより迅速な避難につなげるということを目的として進めている。個人情報絡むため、個人情報に配慮した自治会、社会福祉協議会、市の三者契約という形の中で協働して進めていきたいということ。緊急時連絡カードについては、市の事業では無く詳細な内容を把握していないので、即答はできない。

(建設課)警戒区域については、建設課で位置などは把握しており、地区的な資料も全て揃っている。優先順位をつけた中で、順次安全対策を図っていきたい。

(産業観光課)今年度長瀬で実施した場所は、水田が荒廃し、胡桃等が立木として立っているような状況の所だった。そこへ重機を入れ、胡桃等を伐採。根を抜き、草を全部刈り、大型のトラクターを持ってきてロータリーで全部起こし、表面をならした後、ソバを蒔く。この一連の作業を実験的に行った。もう一ヶ所は、畑で荒れていたが、藪はらいをし、畑を復旧し、種蒔きをした。

(委員)現在のところ、緊急時連絡カードとは範疇が違うようなので、今後検討していただければと思う。マップ開示がされていないので、どのくらいの状況にいるかわからない。

防災が進んでいるのであれば、もう少し情報開示した方がいいのではないか。

(委員)【重点目標 1- 】各学校の意見を聞いた中で、特記するような意見はあったか。

【重点目標 2- 】体験ツアー参加者はどれくらいか。8回計画のうち 5回実施とあるが、残りの 3回何か形を変えて実施するのか。または、内容検討の必要があり、5回で打ち切りか。【重点目標 4- 】すぐに結果は出ないと思うが、例えば、ビックサイトでの技術展に参加したことで問い合わせがあった等、具体的に目に見えた効果はあったか。

(市民生活課)丸子地域の小中学校の教頭会では、様々な意見が出た。上田市として取り組めないような話もあったが、その中で、私たちは今、まずはパトロール実施だということで、不審者情報のある危険箇所等を聞き、そのパトロール強化に繋げてほしいとの話をいただいたので対応していきたいと思っている。

(産業観光課)体験ツアーは、9月は 5回、10月は 3回実施した。丸子でツアーを組むといった時に、上田城や真田幸村関係の史跡をめぐるツアーや生島足島神社や塩田平の仏閣等を回るツアーを考えると、丸子はツアーという部分で大変弱い。その中で、今度でき上がったマリコヴィンヤードのぶどう体験ツアーをオリジナルにしていきたいという方向の中で作ったツアーであり、昨年は試作、今年の実績を基に 8回のツアーを組んだということ。今年、中京圏でマリコヴィンヤードの日帰りツアーを企画していただき、3回 115名の参加申し込みがあった。また、鹿教湯に宿泊し、ツアーに参加いただいたのが 39名。合計で約 160名の県外の方に参加いただいたということ。また、これらのツアー参加者にあさつゆでお買い物をしていただくというコースを設定しており、できるだけ地域に貢献するツアーを組んでいきたいと考えている。神の倉工業団地の誘致活動については、現在企業からの引き合いがきている。

(会長)鹿教湯温泉は私の地元であり、厳しい現状の中にあるが、「地域の魅力広がる観光・温泉地づくり」ということで、丸子地域では重点目標に挙げて取り組んでいただいております。昨日、鹿教湯地区で観光関係者を集め、鹿教湯出身の観光や活性化について熱心に取り組んできた方を講師に招いて勉強会、活性化策などの検討を行った。2時間半にわたり非常に活発な意見が交わされ、非常に良い懇談ができたと思っている。私が一番言いたいのは、これだけ力を入れていただいても、地元が本気にならなければ何もならないということ。地域がしっかりやれば、市も丸子地域も応援してくれるということをお話させていただいたところである。

この平成 23年度重点目標については、皆さんから色々な意見・要望があったので、市としても、引き続き重点目標が達成されるよう、23年度の後半期もしっかりと業務を進めていきたいと思う。

## (2) わがまち魅力アップ応援事業に関する専門部会の検討状況について

### 【前回会議の検討内容について部会長より報告】

- ・事業の審査方法、採択方法等について及び、公募の方法や活性化策等について検討を行った。最終的な検討結果は、11月協議会で報告したい。
- ・今後の議題については、地域の各グループのネットワーク化について、意見交換について、グループに対するフォローアップ体制についてさらに検討を進める。

#### 4 その他

##### (1) 丸子地域の魅力を PR する事を目的とした専門部会の設置について

###### 【部会設置の検討結果について報告】

(委員) 設置という結果には至らなかったが、前回各委員から出た意見に対して、行政側からの意見が無かったため、本日全体会終了後に担当課と話し合い、議論を進めたいということになった。また、専門部会が一つしか上がっていない中で、一つではいけないのではないかと。今後専門部会を一つでも二つでも考えていく中で、全体会終了後、前回のメンバーでどういう専門部会が上がっていくかの検討をしていこうという話になった。

(会長) 結論が出なかったということで、設置の可否に関する検討も必要だと思う。私も参加したが、非常に範囲が広い中で、もう少し絞り込んでやってはどうかという話もあった。本日も専門部会の委員以外の皆さんで、必要があれば検討いただければと思う。

##### (2) 研究会における検討状況について

###### 【公共交通研究会】(会長より研究会での協議内容を報告)

第2回研究会(10月13日)

- ・「公共交通」は範囲が広いと、当面は研究対象を「まりんこ号」に絞る。
- ・まりんこ号を利用した委員の話聞き、運行ダイヤやバス停の利便性等について討議。
- ・全体会にて、重点目標 3- 「高齢者クラブ総会で意見を伺った」との報告が建設課からあったので、それについて市側から話を聞き、討議。
- ・今後、高齢者クラブとも連携を図り進めていく。高齢者クラブが研究会に参加するか否かは、今後委員との打ち合わせの中で決定していく。

###### 【緊急時連絡カード・マップ研究会】(会長より報告)

- ・研究会はまだ一度も開催されていない。
- ・緊急時連絡カードは既にあちこちで、主に行政(市)で作成されており、内容等はある程度類型化されている。問題は、カードをどういう立場で発行し、活用するかということ。行政的な要素が非常に大きく、まずは自治センター側と調整する必要がある。

###### 主な意見の内容

(委員) 公共交通研究会はかなりまとまってきた。しかし、出席者が少なく、時間的な問題もある。専門部会になれば、全体会後に開催でき、参加人数も増え、実際に取り組めるのではないかと。公共交通というだけの研究会では問題だと思うが、「まりんこ号」と研究対象の絞り込みもできている。また、重点目標にも入っており、担当課とも話し合いが持たれている中で、是非専門部会へ上げる方向で考えていただきたい。

(会長) 本日も専門部会の委員以外の皆さんに、丸子地域の魅力を PR する事を目的とした専門部会の設置についての検討をお願いしているが、その中で、「まりんこ号」に関する専門部会立ち上げも併せて検討をお願いしたい。

##### (3) 次回以降の会議等日程について(事務局から詳細説明)

- ・地域協議会研修会『まちづくり講演会』

平成 23 年 11 月 12 日(土曜日) 午後 1 時 30 分 上田市マルチメディア情報センター

テーマ:「参加と協働によるまちづくり(仮題)」 講師: 関谷昇氏

資料 2: 地域協議会研究会『まちづくり講演会』の開催について

- ・ 第 8 回丸子地域協議会 平成 23 年 11 月 17 日（木曜日）午後 1 時 30 分  
丸子地域自治センター 4 階 講堂
- ・ 第 9 回丸子地域協議会 平成 23 年 12 月 15 日（木曜日）午後 1 時 30 分  
丸子地域自治センター 4 階 講堂

(4) その他

- ・ 平成 23 年度上田市議会報告会実施について（事務局から詳細説明）

- ・ 上田市議会報告会（丸子地区）

平成 23 年 11 月 18 日（金曜日）午後 7 から 8 時 30 分 丸子文化会館

資料：平成 23 年度上田市議会報告会実施概要

5 閉会 14:50 地域協議会終了後、部会等開催（第 3 4 会議室）